

キャンプ砂防2023 in とまこまい

キャンプ砂防とは、国土交通省砂防部砂防計画課が事務局となり、全国の学生を対象に、実際の現場体験を通し砂防の意義・役割を学んでもらう取り組みです。室蘭開発建設部では2023年8月28日(月)～9月1日(金)開催「キャンプ砂防2023 in とまこまい」を募集したところ3人の応募があり、樽前山火山噴火に起因する土砂災害への備えや、胆振東部地震により被災した厚真川流域の砂防事業について現場での見学・体験を通じて多くのことを学んでいただきました。 ※キャンプ砂防についての詳細はこちら →

<http://www.sabopc.or.jp/camp-sabo2023/>



◇樽前山直轄火山砂防事業について

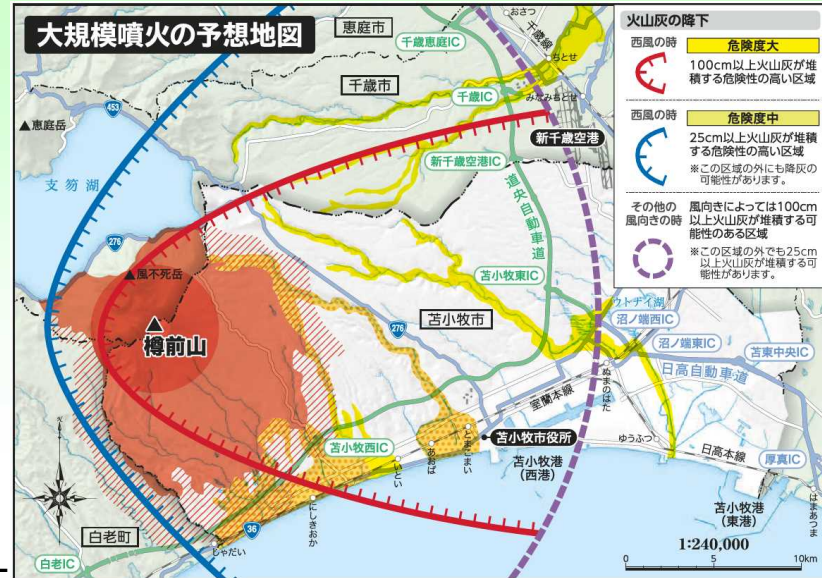


樽前山は活火山であり、大規模噴火から中・小規模噴火を経て、休止期に至るといったサイクルを繰り返しており、再び大規模噴火が起これば、右のハザードマップのような被害が想定されています。







山麓には市街地が位置し、道央自動車道・国道36号・JR室蘭本線などの重要交通網や新千歳空港・苫小牧港・苫小牧臨海工業地帯などの物流拠点が集中しており、噴火時には全国の社会経済にも甚大な影響を与えるおそれがあります。このため、火山泥流災害の被害軽減を目的として平成6年度から樽前山直轄火山砂防事業に着手し、砂防設備の整備を進めています。

樽前山噴火災害ハザードマップ

※苫小牧市のハザードマップから引用



※火山灰の「危険度大」の地区が、苫小牧市の半分以上を占めている。

凡 例		
 危険度重大 直径1.5mの岩が飛んで来る危険性の高い区域	 危険度重大 火砕流の本体に襲われる危険性の高い区域	 危険度重大 積雪が火砕流の熱で融かされて発生する泥流が氾濫する危険性の高い区域
 危険度大 火砕流の熱風部に襲われる危険性の高い区域	 危険度大 火山灰が積もった地域では、(西風の時の想定) 雨の時に泥流・土石流が氾濫する危険性の高い区域	 危険度大 降水の分布によって危険区域は変わるので、これ以外の谷にも危険性があります。

火山災害と砂防を学ぶ

- ◇樽前山と火山地形
- ◇火山噴火による災害
- ◇火山対策・関連施設の見学

露出した地層の観察
(安平町)



火口見学
(倶多楽火山)

※露頭観察・
露出した地層の
観察。(火山灰の
堆積状況等)



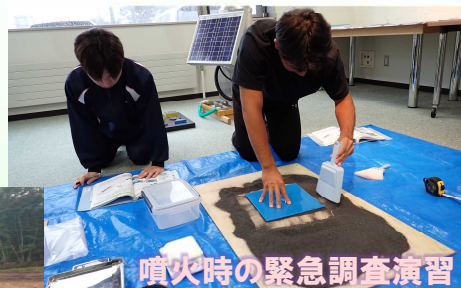
ビジターセンター見学(支笏湖)



白老防災拠点

砂防工事と災害への備えを学ぶ

- ◇噴火発生時の緊急対応
- ◇火山砂防工事の現場見学
- ◇砂防設備の施工方法



噴火時の緊急調査演習



覚生川流域砂防堰堤工事現場見学



ICT施工(遠隔施工)体験

◇厚真川水系特定緊急砂防事業

2018年(平成30年)9月北海道胆振東部地震により厚真川流域内で多数の斜面崩壊が発生、崩落地から大量の土砂・流木により多数の人家等に甚大な被害が発生した。この地震発生からの復旧・復興のための砂防事業を実施しています。



斜面崩壊現場を見学



実際の災害復旧現場を見学